

令和6年度三田市ヘルパー事業所連絡会 報告書

社会問題となっている福祉分野の人材不足は、三田市の障害者支援のヘルパーにおいても同様であり、益々深刻さが増している。障害福祉サービスにおける居宅介護事業所だけでなく、現在は介護保険サービスのみを提供している訪問介護事業所を含む三田市内のヘルパー事業所が、情報交換や研修を通じて障害福祉に対する理解と関心を深め、また、専門性や資質向上を図ることで、障害者支援のサービスを提供する事業所や人の不足に対する課題解決の一助となるよう連絡会を隔月に実施した。研修で取り上げたい内容は去年度の年度末に取ったアンケートにて決定した。

○ヘルパー事業所連絡会の開催状況

開催日	内容	参加者数（事業所数）
5月8日（水）	「ノーリフティングケアについて」講義 講師：ぼしぶる 藤田 巖一氏	19名（11事業所）
7月3日（水）	「ノーリフティングケアについて」実技 ～利用者介助の考え方～ 講師：ナチュラルハートフルケアネットワーク兵庫 藤井 幸氏	36名（15事業所）
9月11日（水）	「ヘルパー利用経験者（ピアサポーター）に学ぶ」 講師：NPO 法人あすなる 彼谷哲志氏 ピアサポーター 関原 淳子氏	26名（10事業所）
11月13日（水）	「合理的配慮について」 講師：たじまソーシャルワーカーオフィス 認定社会福祉士 田島 啓子氏	45名（14事業所）
1月8日（水）	「ハラスメント研修」 講師：日本ホームヘルパー協会 会長 松本教資氏	30名（5事業所）
3月12日（水）	① 障害福祉課より ② 現状の困りごとについての意見交換	

【成果と課題】

・昨年度好評だった「ノーリフティングケア」の研修は、講義と実技で2回行うことが出来た。身体介護の研修やヘルパーの負担軽減のための用具を使用した研修の実施を今後も受けたいとの感想があった。

・すべての介護従事者が受講義務のある法定研修について、「合理的配慮について」と「ハラスメント研修」を行った。合理的配慮についての研修では、困難な事例をもとにグループで話し合い、実際自分がその状況になった時どんなことが出来るか、意見交換が出来た。ハラスメント研修ではハラスメントの種類が100種類以上あることや、自分の言動を見直して利用者と接したいとの感想があった。

クレームや、契約解除といった状況にならないよう事前の対策や環境調整を利用者と契約時に話しておくことも大切なことだと学んだ。

・精神疾患を抱えた方への支援を学ぶ機会として行った研修では、精神疾患の分類や関わり方のヒントを学ぶことが出来た。ピアサポーターのお話ではヘルパーとの実際のやり取りを聞くことができ、当事者が考えている悩みなども話していただいた。

・今後の課題として、引き続き人材育成のための研修のほかに、介護技術講座、事例検討会、ヘルパー自身のメンタルヘルス、ストレッチ等、利用者と最も近くで支援するヘルパーが今後も活躍してくための研修や講座を行っていきたい。

<開催場所>三田市総合福祉保健センター

延べ人数 : 156名

参加事業所 : 55事業所

【居宅介護支援事業所】

ねくすと、WELnetさんだ、三田市社会福祉協議会 中央ホームヘルパーステーション、ユースタイルケア三田センター、ユースタイルケア神戸北センター、ほしぶる、ニチイケアセンター三田、ニチイケアセンターウッディタウン、神鉄ケアサービスセンター三田、もりのおと、

【訪問介護事業所】

オアシス三田ヘルパーステーション、

【その他】障害福祉施設 沢谷荘、障害福祉施設 東山荘、三田こぶしの園、三田療護園、あすなろ相談支援事業所、相談支援事業所 ねくすと、三田わくわく村、三田市障害福祉課、三田市障害者基幹相談支援センター、三田市障害者生活支援センター、老健三田温泉シルバーステイ